

登録日 2017/7/27

レジメン名 BRE0010

腫瘍名 乳がん

申請医師 乳腺外科

### 投与スケジュール

DTX+Pertuzumab+Tmab				21日毎 × PDまで (ドセタキセルは6~8コースまで)			
				1コース		2コース	
				1	8	15	22 ... (Day)
①	デキサート 生理食塩水	6.6 mg 50 mL	点滴 15分	↓			↓
②	生理食塩水 (前投薬フラッシュ用)	50 mL	点滴 5分	↓			↓
③	パージェタ 生理食塩水	420 mg 250 mL	点滴 30分	↓			↓
初回投与量: 840mg、2回目以降投与量: 420mg 初回60分投与、2回目以降30分に短縮可能							
④	生理食塩水 (フラッシュ用)	50 mL	点滴 5分	↓			↓
⑤	トラスツズマブBS 蒸留水 生理食塩水	6 mg/kg 20~40 mL 250 mL	点滴 30分	↓			↓
初回投与量: 8mg/kg、2回目以降投与量: 6mg/kg 初回90分投与、2回目以降30分に短縮可能							
⑥	生理食塩水 (フラッシュ用)	50 mL	点滴 5分	↓			↓
⑦	ドセタキセル 5%ブドウ糖液	75 mg/m <sup>2</sup> 250 mL	点滴 60分	↓			↓
⑧	生理食塩水 (フラッシュ用)	50 mL	点滴 5分	↓			↓

### 注意事項

<p><b>【適応】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>手術不能または再発乳癌の一次治療</li><li>パージェタ+トラスツズマブ+化学療法の治療歴がある進行、再発乳癌における三次治療以降(2022年12月27日)</li><li>術前及び術後で使用する場合、4コース実施。その後、パージェタとトラスツズマブは合計1年間まで継続。</li></ul> <p><b>【使用上の注意】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>パージェタおよびトラスツズマブは、病理結果にてHER2蛋白陽性者に限る。</li><li>パージェタおよびトラスツズマブは、初回投与の認容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。</li><li>パージェタおよびトラスツズマブ投与の際には、心エコーによる心機能を確認する(CLEOPATRA studyの基準を参考に)。LVEF40%未満、あるいは40~45%でベースラインからのLVEF低下が10%以上の場合、投与延期。モニタリングの頻度は、通常の患者では12週毎、無症候性心機能障害者では6~8週毎に行う。</li></ul> <p><b>【投与延期してから再開する際の用量】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>パージェタ : 前回投与から6週未満 ⇒ 420mg、 前回投与から6週以上の場合 ⇒ 840mg(次回以降420mg)</li><li>トラスツズマブ : 前回投与から6週未満 ⇒ 6mg/kg、 前回投与から6週以上の場合 ⇒ 8mg/kg(次回以降6mg/kg)</li></ul>
--

### 参考文献

<ol style="list-style-type: none"><li>1) Lancet Oncol, 14, 461-471 (2013).</li><li>2) 乳がん診療ガイドライン2015年</li><li>3) パージェタ、ハーセプチン、ドセタキセル添付文書</li><li>4) パージェタ適正使用ガイド</li><li>5) Cancer Science, 113, 3169-3179 (2022).</li></ol>
---